

工学教育協会 第 67 回年次大会 (2019 年度)

工学教育研究講演会ならびに国際セッション講演募集要項

1. 大会メインテーマ：

「持続可能な社会のための課題解決を目指す工学教育」
 テーマ趣旨：世界的人口増加と環境汚染の問題からローマクラブにより「成長の限界」が指摘されて以来、エネルギー・資源の枯渇、地球温暖化、食料問題などの地球規模でのグローバルな課題が注目を集めてきた。一方で、先進国における急激な人口減少に伴う労働力不足、地域社会の衰退など、ローカルな面での持続性も近年では課題となっている。SDGs (Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)) が、2015年の国連サミットで採択されて以来、2030年に向けて様々な政策が行われつつあるが、このような課題に対し、工学の専門知識を活かして貢献できる人材の育成が、真に豊かな持続可能な社会の構築には必要である。本大会では、持続可能な社会を構築するための課題解決に必要とされる人材育成のための工学教育のあり方について討論を深めたい。

主催：日本工学教育協会、東北工学教育協会

日時：2019年9月4日(水)～6日(金)

会場：東北大学川内北キャンパス

〒980-8576 仙台市青葉区川内41

Tel. 022-717-7800(代)

2. 講演募集テーマ

2.1 一般セッション講演：すべての一般セッション講演テーマで、口頭発表またはポスター発表のどちらかを選択できます。

I. 大学・高専等における教育

- (01) 基礎科目の講義・演習
- (02) 専門科目の講義・演習
- (03) 実験・実技
- (04) 教材の開発
- (05) 高大院連携
- (06) リメディアル教育・初年次教育
- (07) ものづくり教育
- (08) 大学全入時代の工学教育
- (09) エンジニアリング・デザイン教育

II. 教育力・教育システム

- (10) 工学教育・システムの個性化・活性化
- (11) プロジェクトマネジメントとPBL
- (12) e-ラーニング・教育ソフトウェア
- (13) 教育評価・自己点検・評価システム
- (14) 工学教育に関するグッドプラクティス
- (15) グローバル化時代における工学教育

III. 社会連携および企業・社会人教育

- (16) インターンシップ
- (17) 産学連携教育

(18) 社会との連携および貢献

(19) 企業における技術者教育

(20) 社会人のための大学院教育

IV. 学生の教育・学修活動 (学生による発表に限ります。)

(21) 学生の教育活動事例

(22) 学生の学修活動事例

V. 多様化時代のダイバーシティ推進

(23) 女性エンジニア育成支援

(24) 多様な学生への学修支援

2.2 国際セッション講演：第67回年次大会ではテーマを「工学教育における国際連携」として開催します。国際セッションへの積極的な申し込みをお願いします。英文投稿・発表となります。また、今大会では、AEESEAP (東南アジア・東アジア・太平洋地区工学教育協会) 国際会議を併催する予定です。

3. オーガナイズドセッションの公募：

オーガナイズドセッションのテーマを公募します。オーガナイズドセッションを提案する方は、2月18日(月)までにテーマ名、テーマ内容、予定発表論文数(6件以上を目途)を担当(9. 問い合わせ先参照)までご連絡ください。

なお、発表形式は口頭発表のみで、プログラムの枠組みは一般セッション講演の中に含まれることとなります。また、オーガナイズドセッションでは、ワークショップの時間も設定できます。開催するオーガナイズドセッションは、3月末に発表され、一般からの申し込みも受け付けます。

4. 登壇者の資格

- (1) 日本工学教育協会、または各地区工学教育協会の個人正会員、団体正会員(学校・企業等)、および賛助会員に所属するもの。
- (2) 協賛学協会の個人会員。

なお、学生の発表の場合は、共著者に指導教員を加えてください。また発表には、上記(1)の資格を有する指導教員が同席することを原則とします。

5. 発表の申し込み

5.1 一般セッション講演(口頭/ポスター、オーガナイズドセッションを含む)：

論文とアブストラクトの同時申込とします。申し込み際には、HPの応募要領を参照してください。ポスターセッションは、多くの参加者に見てもらえるように、交流会の直前に実施しますので、ぜひ応募ください。

- (1) HPにて2019年4月5日(金)より受付を開始します。
- (2) 申込締切：5月7日(火)
- (3) 申込者には、6月初旬に採否を通知します。
- (4) 登壇数制限：口頭発表は、1テーマ内では登壇者1名につき1件とします。ポスター発表は登壇者1名につき1件とします。

5.2 国際セッション講演：

- (1) HP掲載のCall for Papersを参照してお申し込みください。
- (2) 申込締切：5月7日(火)
- (3) 申込者には、6月初旬に採否を通知します。

6. 原稿作成および投稿要領

6.1 一般セッション講演論文：

- (1) 原稿枚数は2ページとします。HPに掲載の「工学教育研究講演論文集原稿の作成における注意事項」に従い作成し、HPから電子投稿してください。書式、内容などに問題がある場合は、不採択となることがあります。
- (2) 発表者（共著者・連名者）の人数は6名以内とします。
- (3) 国内論文集は電子メディア（CD-R）で発刊します。事前払込参加登録者には、8月2日(金)を目途に名札、論文集他資料を送ります。開催期間中は、大会参加者を対象にHPで論文を閲覧できる予定です。なお、会場にはプリントアウト用設備などはありません。

6.2 国際セッション講演論文：

原稿は、HPに掲載のAuthor's Guideを参照して作成してください。原稿は4もしくは6ページとし、担当までPDF文書にてメール送付ください。国際セッション論文集を冊子として発刊します。

7. 発表要領、費用、表彰、公開、その他：

- (1) 発表要領：口頭セッションでの発表講演時間は、1題目につき講演10分、討議5分。国際セッションは合計20分の予定。
口頭発表は、原則として、主催者の用意するパソコンにUSBメモリでデータを移行して、プロジェクタによる投影発表といたします。詳細は今後公開されるHPの「発表における注意事項」を参照ください。
- (2) 費用：登壇者・参加者は大会参加登録ならびに参加費（資料代を含む）が必要です（事前払込参加登録は4月5日(金)より7月12日(金)まで）。登壇者には参加費の他に、別に定める登壇料をお支払いいただきます。

- (3) 表彰：優れた発表には、JSEE研究講演会発表賞、ポスター発表賞を授与します。また、国際セッションでの優れた発表には、International Session Awardを授与いたします。
- (4) 公開：発表論文は、一定期間終了後、J-STAGEに登載・公開されます。
- (5) 講演発表後、「工学教育」誌に掲載を希望される方は、「工学教育」投稿規定・執筆要領に準じて改めてご投稿いただき、編集・出版委員会の査読を経て掲載します。

8. キャンセルポリシー：

開催にあたって、不測の事態が生じた場合は中止、延期などの方策を講じる場合があります。なお、参加費などについては、一部払い戻しのできない場合がありますので、ご承知おきください。HPにてご案内します。

9. 問い合わせ先：日本工学教育協会 事務局 川上

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20
 建築会館4階
 Tel. 03-5442-1021 Fax. 03-5442-0241
 E-mail : kawakami@jsee.or.jp

URL : <https://www.jsee.or.jp/event/conference/>

2019年度協賛学協会（依頼予定、五十音順）

IEEE Education Society Japan Chapter, 応用物理学会, 化学工学会, 教育システム情報学会, 空気調和・衛生工学会, 計測自動制御学会, 資源・素材学会, システム制御情報学会, 地盤工学会, 情報処理学会, 照明学会, 初年次教育学会, 精密工学会, 繊維学会, ターボ機械協会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本液体微粒化学会, 日本応用数理学会, 日本音響学会, 日本感性工学会, 日本機械学会, 日本技術史教育学会, 日本教育工学会, 日本金属学会, 日本経営工学会, 日本原子力学会, 日本建築学会, 日本工学アカデミー, 日本工学会, 日本工業英語協会, 日本数学会, 日本数式処理学会, 日本図学会, 日本生体医工学会, 日本設計工学会, 日本セラミックス協会, 日本塑性加工学会, 日本デザイン学会, 日本鉄鋼協会, 日本トライボロジー学会, 日本人間工学会, 日本防錆技術協会, 日本ロボット学会, PMI日本支部, 表面技術協会, プロジェクトマネジメント学会